令和７年度　道徳教育全体計画

大村市立松原小学校

児童の実態

① 素直で明るく純朴である。
② 友達と仲よく助け合う。
③ 自主性、自発性、積極性に課題がある。
④ 「節度・節制」に課題がある。

保護者の願い

① 責任感のある子ども
② 苦しみや困難にくじけない子ども
③ 誘惑に負けない意志の強い子ども

教師の願い

① 積極的に自分の意見を述べ、行動する子ども
② 誰にでも親切で思いやりのある子ども
③ 夢や目標をもち、粘り強く頑張る子ども

学校教育目標

ふるさとを愛し
　心身ともにたくましい
　　松っ子の育成

日本国憲法

教育関係諸法規

・教育基本法
・学校教育法
・その他関係法規
・県市教育委員会の教育方針

重点指導目標

① 身の回りを整頓し、礼儀正しく規律あること。
② 相手のことを思いやり、友達と仲よく助け合うこと。
③ 自然を愛し、生命のあるものを大切にすること。
④ 進んで働き、責任をもって最後までやり抜くこと。

学習指導要領

学校における道徳教育は、特別の教科である道徳を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

各学年の重点指導目標

低学年	A　健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。（節度、節制） B　友達と仲良くし、助け合う。（親切、思いやり） C　約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする。（規則の尊重） D　身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。（生命の尊さ）
中学年	A　自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。（節度、節制） B　相手のことを思いやり、進んで親切にする。（親切、思いやり） C　約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る。（規則の尊重） D　生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする。（生命の尊さ）
高学年	A　より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く。（希望と勇気、努力と強い意志） B　誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする。（親切、思いやり） C　先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める。（よりよい学校生活、集団生活の充実） D　生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する。（生命の尊さ）

各教科の重点指導目標

総合的な学習の時間の目標

外国語活動の目標

特別活動の目標

生徒指導その他

① 日常生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けさせる。
② 差別や偏見のない学級・学校のもとで人権尊重教育・福祉教育を充実する。
③ 勤労生産活動を通し、働く喜びを感得させる。
④ ボランティア活動を通して奉仕する喜びを感得させる。

集団宿泊活動

家庭との連携

地域との連携

道徳の時間の指導方針

① 各教科・領域との密接な関係を図りながらこれを補充・深化・統合し、豊かな心をもち、たくましく生きる児童を育成する。
② 社会の変化に自ら対応できる人間を育成するため、その基礎として、豊かな体験を通して、児童の内面に根ざした道徳性を涵養する。

学級・学校への環境

① 言語環境・読書環境を整え、豊かな情操を培う。
② 学校の歴史や先輩たちの足跡を知り、学校を愛する心を培う。
③ 動植物を育て、生き物を大切にし、自然のすばらしさに感謝する心を培う。